

鯧漁場建築～小樽市鯧御殿(旧田中家番屋)～

北海道・小樽市



この建物は明治24年(1891年)、積丹半島西部にある泊村のにしん網元、田中福松氏が7年をかけて明治30年(1897年)に竣工したにしん漁場を代表する建築物で、昭和33年(1958年)小樽市に移築された。

明治後期の積丹半島は、にしん漁最盛期であり、当時建設された多くの現存する建物の中でもこの施設は大規模で、総面積611.9m²、鯧漁場建築を代表する切妻造で、最盛期には100人以上のヤン衆と呼ばれる働き手と網元の家族が寝泊りしており、民家としても北海道を代表する建築遺跡である。また、本施設がある祝津地区は、小樽でも古くから水産業を中心に開拓された場所で、にしん漁場の史跡が多数残っており、鯧御殿のある高台からは石狩湾と雄冬岬が眼下に広がる。当時この一帯はいわゆる鯧千石場所として、にしんを満載した船が入り出していた場所であった。

昭和35年(1960年)に「北海道有形文化財・にしん漁場建築」として北海道の民家で初めて文化財に指定された。

TOPICS ・人気のお土産：にしん甘露煮など

お問い合わせ先

小樽市鯧御殿(11月下旬～4月上旬は、小樽市経済部観光振興室)

TEL / 0134-22-1038(小樽市鯧御殿)

TEL / 0134-32-4111 内線266(小樽市経済部観光振興室)

【交通】

バス / JR小樽駅から中央バス「おたる水族館」行き(25分)

終点下車 徒歩5分

船 / 小樽港から小樽海岸海上観光船で祝津港徒歩10分

